

意見書（案）第40号

米軍横田基地C V22オスプレイの墜落・死亡事故を受け、事故原因の究明と再発防止を求める意見書

上記の意見書（案）を別紙のとおり提出する。

令和5年12月21日

三鷹市議会議長 伊藤俊明様

提出者	三鷹市議会議員	前田まい
賛成者	〃	大城美幸
〃	〃	紫野あすか
〃	〃	栗原けんじ

米軍横田基地C V22オスプレイの墜落・死亡事故を受け、事故原因の 究明と再発防止を求める意見書

11月29日、米軍横田基地所属のC V22オスプレイが屋久島沖で墜落した。乗員は8人で、同日夜の時点で1人の死亡が確認された。国内では初めての死亡事故となる。事故機は、岩国基地から嘉手納基地に向かう途中、屋久島空港に緊急着陸するとの通報後、同空港から南東に2キロから4キロほどの海上に墜落したと見られている。仮に地上に墜落していれば、甚大な人的被害があり得た。

垂直離着陸輸送機オスプレイは、開発段階から事故を繰り返し、今回の事故を除いても57人が亡くなっている。今年8月に米海兵隊MV22オスプレイがオーストラリアで訓練中に墜落した事故では3人の乗員が死亡、5人が重傷を負った。国内では米海兵隊機、米空軍機、自衛隊機のいずれもが、緊急着陸を繰り返している。横田基地のC V22オスプレイは2018年4月の横田基地への初飛来以降、昨年10月までに少なくとも5回、エンジントラブルなどで緊急着陸している。

背景には幾つもの構造的欠陥が指摘される。緊急時に不時着するためのオートローテーション機能の欠如をはじめ、オスプレイ特有のクラッチの不具合であるハード・クラッチ・エンゲージメント（HCE）を起こす構造を持ち、その現象が起きれば制御不能になる。根本的な原因はいまだに解明されず、対策も確立していないことは米軍自身が認めている。

また、横田基地周辺住民にあっては、人口密集地での事故やオスプレイの安全性に不安をさらに募らせている。11月30日には、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会が、C V22オスプレイについて、安全性が確認されるまで飛行停止措置を講じること等を米軍及び国に要請した。

本市においても、本年2度にわたって調布飛行場に米軍横田基地所属のヘリコプターが緊急着陸しており、飛行場の安全利用と住民の安全確保が求められている。

よって、本市議会は、度重なる事故の発生に対して厳重に抗議するとともに、国会及び政府に対し、下記事項を強く要請する。

記

- 1 当該事故の経緯を明らかにするとともに、原因究明を行い再発防止を米軍に要請すること。
- 2 航空機の点検整備を強化するとともに、安全確保の徹底を米軍に要請すること。
- 3 以上に関する情報を自治体に速やかに提供するとともに、オスプレイに対する基地周辺住民の不安に対し、国の責任において丁寧な説明を行うこと。

上記、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和5年12月21日

三鷹市議会議長 伊藤 俊 明